

施設紹介

峡北シルバーケアホーム

県内でもっとも北に位置する、わがホームは「名水とオオムラサキ」の町として知られている長坂町にあります。現在95名近くが入所し職員もここ一年位で大変若返り60名近い職員がそれぞれの部署で活気良く活躍しています。

わがホームでは一年を通してそれぞれ沢山の行事が組まれています。中でも自慢できる夏祭りは大変盛大な行事の一つとして、地域の皆さんと共に家族・入所者・職員一丸となって取り組んでいます。地域の皆さんによる「ハッパ太鼓」「盆踊り」職員・業者の皆さんによる出店、入所のおとしより達はほんとうに心より楽しみにして夏祭りを持ち望んでいます。

それともう一つ3年位前より「家族会」を設け会長さんを選出しました。まず第一の企画として、家にある遊休品を持ち寄り、ホームに無人販売所を設けて収益の中から入所者に何か喜んでもらえる行事をしてあげたいという試みでした。そして昨年の秋それが実現しました。◆朝霧千代子一座◆をホームにお招きし、すばらしい劇や踊りを見せていただきました。入所の皆さん一座のすばらしい寸劇を涙を流しながら見学していました。第2の企画も会長さんはじめ家族の皆様で決定されたように聞いて居ります。理事長はじめ職員心より感謝して居ります。これからもより良いホーム造りのため皆で団結して頑張っていきたいと思っております。



「つる」

老人保健施設「つる」は、県東部の都留市にあり、山梨県下で2番目の施設として平成2年5月1日開設されました。最近ではリニアモーターカー実験線の通る町として知られています。

当施設は、都留市立病院に併設して建てられ、市の医療、福祉に欠かせない存在となっています。周囲は緑に囲まれ、相模川と南桂川が水豊かに流れています。また、窓からは富士山も見え、朝夕、四季折々の美しさが味わえます。

このような環境の中で、当施設も開設して9年となり、在宅福祉に基づいた施設を目標に、入所者のニーズに合ったケアプランを作成しています。特に、リハビリテーション、レクリエーションに力を入れ、日々創意工夫をこらしています。中でも、レクリエーションは、生活の中での張り合い、生き甲斐づくりを目標に小グループ制でのレクリエーションを取り入れています。さらに、コミュニケーションを第一としており、利用者のみなさまの声を逃さぬよう心がけ、信頼関係を築き安心できる施設として努力しています。



シリーズ さくひん



「ひまわり」(貼り絵)

太陽にまっすぐに顔を向ける真夏のひまわりです。入所の方が共同で制作しました。色紙をちぎる役、それを下輪にあわせて貼る人と分担し、たのしかった行事のことや懐かしい昔の語に花を咲かせながら、作業に取り組みました。いつまでも、ひまわりのように元気でいてほしいと思います。

いちのみやケアセンター入所者一同

編集後記

「YAMANASHI ろうけん」第3号をお届けいたします。本誌は新旧の編集委員が集り作成いたしました。老人保健施設の現在の活動状況から将来の活動および重要事項までを含めた内容となっております。次号から川崎編集委員長を始め新しい編集委員諸氏によって魅力的な広報誌が発行されていきます。ご期待下さい。最後に広報誌作成に際していただいた数多くのご協力に深く感謝申し上げます。

編集委員長 竹内 亨

山梨県老人保健施設協議会広報誌

編集・発行 山梨県老人保健施設協議会 広報委員会
事務 所 〒406-0032 山梨県東八代郡石和町日市場2031甲州ケア・ホーム内
TEL.0552-63-0242 FAX.0552-63-2250

制作 BeAD.

山梨県老人保健施設協議会 広報委員会

YAMANASHI

ろうけん

1998.JUL

Vol.3

山梨県老人保健施設協議会広報誌



山梨県老人保健施設

新人職員研修会開催

■介護保険制度のあらましと仕組み

■山梨県老人保健施設協議会事業報告

■輝いている仲間たち!! —サークル活動紹介—

■施設訪問記—甲府南ライフケアセンター—

介護保険制度のあらましと仕組み

ナーシングプラザ三珠
事務長 米波達哉

介護保険制度は、福祉・保健・医療にまたがっていた「介護」を一つの制度にまとめ、財源についても一本化するもので、医療保険・老人保険制度の中にあつた療養型病床群や、訪問看護、訪問診療などが税金で賄われてきた特別養護老人ホームや市町村の在宅福祉サービスとドッキングすると考えて良いでしょう。

財源の面でも保険料と税金で半分ずつとなり、福祉サイドから見ると、サービス基盤の整備や、保険の運営は市町村の責任となります。保険が導入された時の保険料の支払は、40歳以上が被保険者となり、65歳未満(第二号被保険者)は収入の一定割合を医療保険に上乗せして徴収され、65歳以上(第一号被保険者)の高齢者も年金から保険料が天引きとなります。収入が一定以下の高齢者の場合は所得に応じて保険料の減額があり、国保の被保険者と同様に市町村が徴収する事になります。二号被保険者の保険料は一度全国レベルでプールして各市町村の介護給付費に応じて交付する仕組みになり、ちなみに65歳未満では、「老化による病床」の場合だけ介護保険の適用となり、事故などで介護が必要となった場合は別扱いとなります。介護保険も医療保険と同じ現物給付の保険で、提供したサービスごとに定められている「介護報酬」の九割を事業者が保険に請求と残りの一割は利用者の負担となります。介護が必要になった場合はまず、市町村に申請して「要介護認定」を受けることが必要とされ、要介護度によって給付額に上限がある一種の「包括払い」であることが、基本的には必要なだけ給付される「出来高払い」の医療保険とは大きく異なる点になります。なお、調査の後、市町村からの通知は1カ月以内とされますが、その間介護サービスをうけた場合には、保険から九割が償還されるようになります。一般的には、要介護度が確定したら、ケアマネージャーのいる「介護支援事業者」に依頼してケアプランを作成してもらい、サービス事業者も手配してもらった上で計画的にサービスを利用する形であり、このケアマネジメントも保険の対象に含まれます。介護支援事業者は好きなところを自分で選ぶ事ができるし、自分でプランを作成することも可能です。

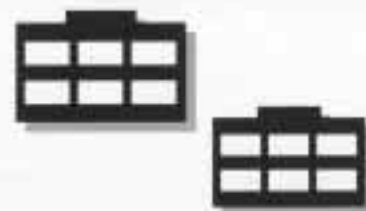
また、施設か在宅サービスを受けて自分で生活をするのかも誰も強制できないことになっています。「給付」の対象は、在宅十二種類、施設三種類で、これらの現物給付のサービスのほか、住宅改修、福祉用具の購入など利用者が一旦費用を立替え、後で精算する償還払いの対象となるものもあります。

サービス提出機関



在宅サービス

- ◇訪問看護(ホームヘルプ)
- ◇訪問入浴
- ◇訪問看護
- ◇訪問リハビリテーション
- ◇日帰りリハビリテーション(デイケア)
- ◇居宅療養管理指導(医師・歯科医師による訪問診療など)
- ◇日帰り介護(デイサービス)
- ◇短期入所生活介護(ショートステイ)
- ◇短期入所療養介護(ショートステイ)
- ◇痴呆対応型共同生活介護(痴呆性老人のグループホーム)
- ◇有料老人ホーム等における介護
- ◇福祉用具の貸与・購入費の支給
- ◇住宅改修費の支給(手すり、段差の解消など)



介護保険施設

- ◇介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
 - ◇介護老人保健施設(老人保健施設)
 - ◇介護療養型医療施設
- ・療養型病床群
・老人性痴呆疾患療養病床
・介護力強化病院(施行後3年間)

被保険者

第1号被保険者
(65歳以上)
2,200万人
(平成12年度)

第2号被保険者
(40歳~64歳)
4,300万人
(平成12年度)

市町村・特別区

市町村の
個別徴収
約3割の人が対象

年金から
天引き
約7割の人が対象

高齢者の
保険料
(17%)

公費
(50%)

国保
(25%)

都道府県
(12.5%)

市町村
(12.5%)

若年者の
保険料
(33%)

※若年者の保険料については医療保険と同様に、事業主負担・国庫負担があります。

都道府県
市町村支援

国民健康保険団体連合会
審査・支払い等

サービス利用

利用者の一部負担

要介護認定
・市町村で実施
(要介護の審査判定は広域的実施や都道府県への委託もできます)

介護サービス計画の作成
・介護サービスの計画的利用の支援

医療保険者
●健保組合
●国保など

一括納付
(全国でまとめます)

社会保険
診療報酬
支払基金

交付

保険料月額(平成7年度価格)
・平成12年度(3年中期) 約2,500円

介護費用総額(平成7年度価格)
(利用者の一部負担を含む)
平成12年度 約4.2兆円

二つの研修会が開催される!!

新人職員研修会



平成10年5月21日、山梨県立勤労青年センターにおいて第1回山梨県老人保健施設新人職員研修会が開催されました。

この研修会は、県内の老人保健施設のあらゆる職種の実務経験1年未満の職員を対象とし、基礎的知識の習得、適切な管理運営及びサービスの向上を図ることを目的としています。

この日、11施設から36名の参加者が集まり受講しました。

研修会終了後、参加した研修生からは「これからの活動に今日得た知識・感動を生かしていきたい」「他職種のことや老人保健施設の概要が理解できた」「自分の仕事の重要性が認識できた」といった、貴重な意見も多数聞かれました。

各施設の新人職員の皆様のこれからのご健闘、ご活躍を期待いたします。



介護支援専門員養成研修会

平成10年6月17日、山梨県立勤労青年センターにおいて、山梨県老人保健施設協議会主催による介護支援専門員養成研修会が開催されました。

この研修会には、全19施設から65名の職員が参加し、10月11日に山梨県で行われる介護支援専門員の受験に備えた、熱心な研修会となりました。



山梨県老人保健施設協議会事業報告

平成10年度山梨県老人保健施設協議会定期総会開催される

5月15日(金)、山梨県地場産業センターにおいて、平成10年度山梨県老人保健施設協議会定期総会が開催されました。全19施設の代表者が参加し、活発な意見交換や討議がなされました。

- (1) 平成9年度事業報告並びに決算報告
平成9年度専門部会事業報告並びに決算報告
- (2) 新役員承認と監事の選任について
- (3) 圏域別委員選任報告と平成10年度各委員会事業計画(案)
平成10年度専門部会事業計画(案)並びに予算(案)
- (4) その他として
・痴呆性高齢者の医療についての要望書(案)
以上の議案が承認されました。



平成10年度各委員会事業計画

今年度の主な事業計画については、各委員会制度をとり、老健の質の向上・教育を目的とした各研修会の実施、また、広報誌「ろうけん」の年2回の発行、各施設間の交流を目的としたソフトバレーボール大会の開催等が計画されています。

研修委員会

- ★新人職員研修会
- ★介護支援専門員養成研修会
- ★第2回山梨県老人保健施設大会
- ★専門部会研修会
- ★介護保険制度研修会
- ★包括的自立支援プログラム研修会

広報委員会

- ★広報誌「ろうけん」年2回発行
- ★いきいき山梨ねんりんピックへの参加

福利委員会

- ★職員交流ソフトバレーボール大会

新役員紹介

会 長	高津 寿宏	甲州ケア・ホーム	
副会長	跡部 勝朗	城北シルバーケアホーム	
理 事	白倉外茂夫	つる	<input type="checkbox"/> 研修委員長
	川崎 光洋	峡西老人保健センター	<input type="checkbox"/> 広報委員長
	西山 喜雄	甲府かわせみ苑	<input type="checkbox"/> 福利委員長
	今井 立史	ノイエス	<input type="checkbox"/> 研修委員
監 事	山本 恭雄	あさひホーム	
	土橋 伸介	ひばり苑	
顧問	高津 寿秀	甲州ケア・ホーム	

輝いている仲間たち!!

— サークル活動紹介 —

私たちが昨年10月に結成した、劇団演劇クラブです。スタッフは総勢20名程度ですが、老健施設関係者を含め、医療・福祉関係者で構成されています。劇団発足のきっかけは、普段の仕事の中で感じる福祉観、あるいは、皆がいただいている未来の福祉観等々、スタッフ1人ひとりの個性をぶつけあい、これからの福祉のあり方、また社会のあり方について劇を通じて表現し、考えていく場をもうけたいという考えからでした。昨年12月と今年4月に、痴呆老人をテーマとした劇をさせていただきましたが、内容が乏しく十分なとは言えず、まだまだ修業中の身ではありますが、施設の行事等で出演依頼があればいつでもお伺いいたしますので、今後も応援して下さい。

また興味のある方がいらっしゃれば、一緒にされるスタッフも募集しております。



劇団 演劇クラブ代表

甲府かわせみ苑

相談員 保坂邦男

我が甲州ケア・ホームバレーボール部は、50代のおっかさんを筆頭に、20代の若者を中心とした元気一杯のバレーボール部です。毎週木曜日、夜7時から石和中学の体育館で、他の施設のバレーボール部とも合同で練習をしています。

そんな我がバレーボール部の今年の抱負は、老健のバレーボール大会で、一回戦を突破することです。キャプテン高岸君いわく、「うちのチームは、一度勝ちさえすれば調子が出て、後は勢いに乗って勝ち進めるはずです。」キャプテンからこんなセリフが聞かれるのも、昨年のバレーボール大会で、一回戦敗退した我がバレーボール部が、敗者復活戦では勝ち続け、敗者代表として、3位決定戦に出場できたからです。

3位決定戦では、惜しくも負けてしまいましたが、部員一同、来年こそは、優勝を狙えるものと確信し、今年は例年より3ヶ月も早い3月から練習を始めました。今年は、若い新人職員を加え、バレーボール部もますます充実したメンバーで、試合に望むことができそうです。

こんな我々甲州ケア・ホームバレーボール部ですが、これからますます精進し、今年こそ

一回戦突破をはたし、優勝まで行きたいと思います。バレーボールの練習相手がいないチームの皆さん、もしよろしければ、是非一度、我がバレーボール部と練習試合をしてみませんか?。毎週木曜日の夜、いつでもお待ちしております。



ソフトバレーボール部

甲州ケア・ホーム

マネージャー 原澤正崇

施設訪問記 おらんとこの施設を紹介するじゃん!

老人保健施設NAC湯村 あたたかな介護、自立へのお手伝い。それがNAC湯村の目指すもの。

NAC湯村は、平成9年4月にオープンしたばかりのフレッシュな愛情に満ちた施設です。閑静な住宅街に囲まれ、自然環境にも恵まれた湯村温泉郷内の最新施設で、周囲は老舗旅館・ホテルが連なり常にあたたかな風情が漂っています。NAC湯村の最大の特徴は、入浴設備の充実です。良質で豊富な湯量を誇る源泉を十分に利用し、利用者には大変喜ばれています。さらにご家族の方が面会に通いやすいという交通の便の良さもメリットのひとつです。

1年生施設ということでスタッフも元気の良さ生き生きとした若者が多く、深くあたたかい愛情を込めた介護を目指しています。さらに、職員一同各分野にわたるノウハウを利用者の要望から学び、「共生会」の名の通り、利用者と共に生きる最新の都市型施設の確立を目標に努力しています。

■入所サービス ロングステイ/ショートステイ

入所定員 95名(うち、痴呆専門棟 30名)
療養室区分 33室(うち、痴呆専門棟 10室)

入所者の身体的機能回復(家庭復帰)への段階的プログラムを実践していく為に、各専門スタッフのきめ細やかな連携のもと、愛情ある介護で日常生活の延長としてリラックスした毎日をご過ごしていただきます。
【主な行事】季節行事、レクリエーション、お誕生会、お祭りへの外出、ボランティアの導入、近隣の保育園との交流、カラオケ等。

■通所サービス

通所定員 30名

在宅のお年寄りを専用バス(2台)で送迎し、医師の健康チェック、入浴、食事、リハビリ、レクリエーションを行い、リラックスした1日を楽しんでいただきます。



〒400 甲府市湯村3-15-13 TEL/0552-53-2200 FAX0552-53-2203
開設年月日:平成9年4月23日 設置主体:医療法人共生会 併設:在宅介護支援センター

チームワークの勝利!優勝、甲府かわせみ苑

第3回職員交流ソフトバレーボール大会が、平成9年10月19日(日)に山梨市民体育館において開催されました。今回は、16施設からの参加があり、どのチームの試合も目が離せない好ゲームが展開されました。



成績結果

優勝 甲府かわせみ苑
準優勝 恵信ケアセンター
第3位 あさひホーム

